

放課後等デイサービスおお 事業所職員向け自己評価表令和5年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			基準は満たしている。 当施設は安静室などの個別の部屋、ロッカー、遊具、学習スペースをのぞいて約70㎡となっています。児童一人あたり7㎡になる。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			職員は有資格者、児童指導員、研修修了者を配置している。 1日1日の配置数の確認を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		トイレのバリアフリー確保が難しい→トイレのバリアフリー改善が必要 →室内は全て段差のないバリアフリーになっている。また、手すりが設置されている。 トイレのスペース確保が難しい→建物の構造上、二つトイレを設置する為には、現在の広さでの確保が限界である。広さの改善が必要な際は、トイレを一つ取り壊し、広いトイレ1箇所のみを設置となる。改善が必要な場合は検討していく。 同敷地内のクリニックと共有の階段には手すりの設置がされている。共有のエレベーター有。車椅子の利用児童が利用できる配慮にはなっている。 療育室内に手すりはありませんが、必要であれば設置を検討する。また、聴覚障がい児童等へのバリアフリー化の配慮に関しても必要であれば設置を検討する必要がある。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	1		定期的に話し合いを行い、情報共有を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			職員会議にて保護者向け評価表の結果を把握周知し、改善することを共有している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			ホームページに掲載し公開している。
	7	第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			7	外部評価を行っていない →第三者評価は現在行っていない。民間企業や公益法人に依頼した場合、とても高額な費用が必要と聞いているが、今後当法人の経営に余裕が出来た際は検討していきたいが現段階では難しく感じている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			内部研修、外部への研修に参加している。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			アセスメントシートにて保護者への聞き取り、利用児童への聞き取りも行き、職員会議にてニーズや課題を共有し、計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3		WISKや田中ビネー等の検査を受けられた方には、出来るだけ結果をお知らせいただくようお願いしているが頂けていない方もいる。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2		担当制で決めている為個人の裁量が大きい。 毎月全職員で話し合いをしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1		ローテーションで担当分けて考えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3		季節の行事や土曜日を活かした活動が出来ているが保護者への周知までの機嫌もあるので細かなところまでは行き届いていない。 →日々のミーティングの時間を活かして今後活動内容についてより深く検討を行っていく必要がある。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		活動の様子を検討し職員会議にて支援内容に関する意見交換を行いその後、計画書の作成を行っている。また、ミーティングにて内容の確認を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2		支援内容は確認できているが役割分担を明確にすることが出来ていない →ミーティングの時間を活用し、担当職員は必ず役割分担までを伝えるように取り組んでいく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6	1		ざっくりとした意見の交換は出来ているが振り返りの時間を明確に設けていない →支援終了後は送迎や記録の記入等もあり、必ず時間を設定してという形で情報共有することは難しい場合もある。記録に目を通すことや、翌日のミーティングの際に情報共有を行っていくようにする。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		正しく記録することに努めているがそれを活かしているかには疑問が残る →記録は必ず全職員が目を通し、ミーティングの際に課題や支援内容について意見を出し合うように行っていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			事業所内での計画書に対する検討会議や、保護者様との面談を通し計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	2		ガイドラインをしっかりと理解し、自分がどの立ち位置で支援を行わなければならないかを職員全員が理解できるよう努めていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1		学校等関連機関の会議には必ず参加し、情報共有している。また、送迎等の連絡調整も不明な点等あれば確認を行っている。しかし、下校時間の変更時の連携が困難なケースがある為、更なる改善に向けて学校や保護者との連携を行っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連携体制を整えているか	1	2	3	受け入れ体制を整えていない 受け入れていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	3		新入学の児童がいる場合など、連携を図っている。 今年度はなかった。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		5	2	福祉サービスへ移行する実例がまだない。 対象児童がいない為
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2		今年度は研修を依頼し社内研修を行った。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害がない子どもと活動する機会があるか。	5	1	1	・交流していない ・スポーツ大会 →令和5年度は近隣の児童クラブと交流する子会があったが、本当に少ない回数だった為、令和6年度は機会を増やしていきたい。また、由布市の様々な児童クラブと交流を図っていきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6	1		自立支援部会のこども部会に、児童発達支援管理責任者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1		送迎時や直接連絡をしたりして発達の状況や課題について共通理解に努めている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2		特定ではあるが、ペアレントプログラムを行った。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			重要事項説明書を説明する際に(利用開始前)にご説明を実施している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1		保護者からの連絡に応じて対応したり、必要に応じて直接ご連絡をして最近のご自宅や学校での様子をお伺いしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	3	1	3	・保護者向け講演会を開催したが保護者の参加が無かった。(少なかった) ・保護者会をしていない →令和5年度は近隣の事業所と合同での保護者向け講演会を開催したが参加者が少なかった。より多くの方にご参加いただけるよう、検討し企画していこうと思う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			苦情窓口に関する説明は重要事項説明書の説明(利用開始前)を行う際に行っている。苦情や悩み、支援内容など不明な点当のご相談があれば迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		毎月、お知らせと行事予定をシステムにアップしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			十分に注意し、取り扱っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			特性にあった支援方法にて利用児童に意思疎通や情報伝達を行い、また、保護者にも配慮した意思疎通・情報伝達を行っている。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3		他社のデイと合同行事を行っている。 →他事業所との合同行事以外で、地域住民を招いての行事は令和5年度は行ってないが、今後行っていこうと思う。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			マニュアルを作成し事業所内に掲示、また職員に配布を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			年に2回避難訓練を行っている。(うち、1回は消防署の立ち会いのもと実施)
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			毎日、振り返りシートに記載や研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1		指針を設け、同意書と共に保護者にお知らせしている。また、職員向けには研修の際、指針や身体拘束について説明を行っている。
	35	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3		医師の指示はないが、保護者様から連絡を頂いている。アセスメントの際に必ず聞き取りを士し、個人ファイルに保管をしている。
36	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			毎日確認できている。 →朝のミーティングの際に前日のヒヤリハットを報告しあっており、報告書を作成している。また、個別の支援会議での検討事項の際に共有を行っている。	